

第 26 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 18 年 3 月 3 日 (月) 16 : 30 ~ 20 : 50

場 所 宝塚商工会議所 会議室 1

出席者 (委員) 松本 (誠)、池淵、奥西、川谷、村岡、長峯、岡田、加藤、佐々木、
田村、中川、浅見、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、西村、合田
(農林水産部) 福田 (河川整備課) 糟谷
(事務局) 黒田、前田、植田、木本

内 容 (協議結果)

1 流域対策の検討 (基本方針レベル)

継続協議としている「武庫川における流域対策の検討」(ため池、防災調整池のデータ修正、水田貯留効果量の再試算) について、河川管理者から説明があり、協議した結果、次の事項を確認した。

青野ダム流域のため池及び満水面積 5,000m² 未満のため池は、効果量試算の対象外とする。

廃止ため池を防災調整池とする場合の効果量については、現時点では試算を行わない。

「総合治水対策の効果量 (試算)」の一覧表を修正の上、次回流域委員会 (3 月 6 日開催予定) に報告する。

2 河川対策の検討

「武庫川における遊水地の検討」について、河川管理者から説明があり、協議した結果、次の事項を確認した。

今回検討した遊水地 (河川施設) による効果量等については、次回流域委員会に報告する。

遊水地 (公共施設・都市施設) の可能性及び数値化については、改めて協議する。

利水ダムについては、治水活用する場合に実際に操作が可能かどうかの検討を改めて行うこととする。

利水ダムの貯留容量の一部治水転用ができるかどうかについては、水需要等をふまえて、次回流域委員会で協議する。

「河道対策 5 つのメニューについての WT 会議の集約 (メモ)」については、次回流域委員会に報告する。

3 その他

(1) 次回以降の会議の協議事項

河道対策

遊水地 (公共施設・都市施設) の可能性及び数値化

利水ダムの活用

(2) 今後の日程 (開催日時)

第27回	3月 9日(木)	13:30~
第28回	3月 14日(火)	13:30~
第29回	3月 23日(木)	16:00~
第30回	3月 29日(水)	13:30~
第31回	4月 7日(金)	13:30~
第32回	4月 11日(火)	13:30~

当日配付資料

資料1 ため池、防災調整池のデータ修正

資料2 水田貯留効果の再試算

資料3 遊水地による流量カットの試算

資料4 「河道対策5つのメニュー」についての第25回WT会議の集約(メモ)

資料5 利水ダムの治水利用について(伊藤委員提出)

参考資料 武庫川総合治水対策の効果量(試算)